

まもるくん通信

交通事故ゼロ・苦情ゼロを目指して



◆令和5年度最初のワーキングが開催

令和5年6月28日(水)、第7回目となる大阪市一般廃棄物収集運搬業許可業者交通事故削減・市民広聴対応ワーキングを開催しました。

深井担当係長(委員)と堀江係員(事務局)を新たなメンバーに加えて、昨年度の許可業者あて通知文の報告や、交通事故発生状況について検証を行いました。



また、ワーキング結成当初から司会進行役をご担当いただいた岸田茂昭専務理事が今回をもって座長を退任され、新座長として中野博司理事が就任されることが発表されました。

◆苦情対応の情報共有は確実に

気温が上がる初夏の時期は窓を開けて過ごす機会が増え、騒音苦情も増加する傾向があります。一般廃棄物指導課で市民からの苦情を受け付けた際は、該当する許可業者へ連絡し、ご対応いただいています。

皆様のご尽力により多くの苦情が解決しているのですが、時折、**一度解決したはずの苦情が再発する**ことがあります。

担当作業員の交代時、「このマンション前では回転板を回さない」「この区間ではエンジン音に注意する」等の注意点が正しく引き継がれないと、苦情再発のリスクが高まります。

人員交代が発生する際や、臨時の作業員が収集を担当する際は、**必要な情報を適切に引継ぎ、苦情の再発**を防止してください。

- 前任作業員による引継ぎ指導
- 収集ルート別のマニュアル作成等の工夫で情報共有を徹底しましょう



◆居眠り運転を防止しよう

先日、許可業者運転手の居眠り運転により、自車・相手車両双方の乗員が負傷する追突事故が発生しました。運転中に居眠りが発生すると、減速やハンドル操作による危機回避が行えないため**重大事故に繋がりがねず大変危険**です。以下の点に注意し、居眠り運転の防止を徹底しましょう。

STOP！居眠り運転



- 無理のない作業計画を立て、運転手の休息時間を確保しましょう。
- 毎日の睡眠時間や休憩時間を日報に記録する等の取り組みを通し、運転手の体調を把握して適切に管理しましょう。

◆自転車の飛び出しに要注意

今年度、許可業者収集車が絡む交通事故は6月末日現在までに24件発生していますが、その内5件が自転車との接触・衝突事故です。更にその内4件は、**赤信号を無視して飛び出した自転車**との間で発生しており、四輪車側が交通法規を守って走行するだけでは防止が難しい事故でした。しかし、事故の責任について自転車側が負う割合が大きい場合でも、四輪車側が完全な無責となることは稀な上、車体の大きい収集車と自転車との衝突は**致命的な事故に至る可能性が高い**です。交通法規の遵守はもちろんのこと、以下のようなポイントに注意して事故の発生を防止しましょう。

- 交差点では常に「自転車が飛び出してくるかもしれない。」と備える“**かもしれない運転**”を徹底しましょう。
- 夜間は早めにヘッドライトを点け、いち早く自転車を発見できるようにしましょう。
- 自車の前方を自転車が走行している際は、**急な進路変更**に注意しましょう。

